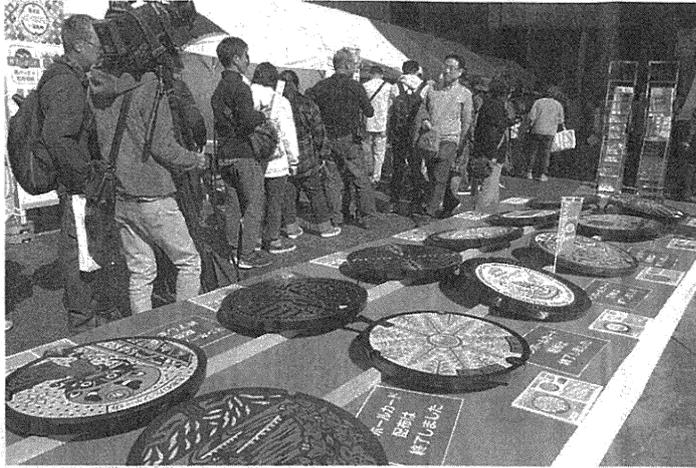


# 独自の文化を世界に発信

## 北九州市上下水道局・G K P

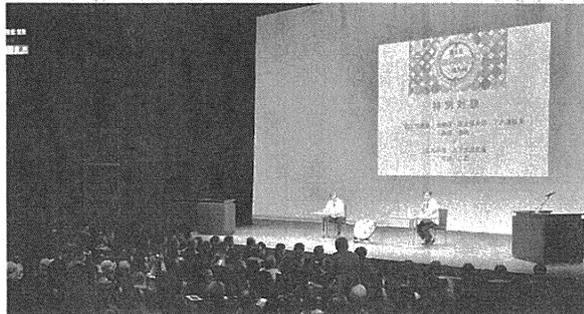


各地のデザインマンホールを展示

### 九州初、マンホール サミットを開催

北九州市で3日、九州地方初のマンホールサミットが開催された。北九州市上下水道局と下水道広報プラットホーム(G K P)の共催。北九州市下水道100周年記念事業の掉尾を飾る行事となり、全国から約5000人の「マンホラー」らが集まった。トークイベント、デザインマンホールの展示など多彩な催しで、北九州市から下水道やマンホールの魅力を発信した。

### 全国から マンホーラーが5000人



森岡部長、有田局長が特別対談

トークイベントは北九州芸術劇場で行い、700席の会場は満席。栗原秀人・G K P企画運営副委員長、ミス日本「水の天使」浦底里沙さんらが

司会進行を務め、最初に森岡泰裕・国土交通省下水道部長と有田仁志・北九州市上下水道局長が特別対談。森岡部長は「マンホール蓋には、関係す

る方々の知恵と工夫の集積がある。技術的、機能的な特徴に加え、各地でデザインマンホールが作られており、日本が世界に誇り得るもの」と語り、有田局長は下水道100年における環境改善の経緯、国連SDGsの実現達成に向けての取り組みなどを説明し、「日本のマンホール文化を世界

に発信しよう」と呼びかけた。続いてベルリン森陽外記念館キュレーターのパオリーテ・ヴォンテさんが「マンホールとアイデンティティ、日本独自の文化の魅力」と題し、ベルリンで開催した日本のマンホール写真展が大盛況となり、マンホールにデザイン的観点を持ち込んだ日本の独自文化を賞賛。陽外が下水道普及に

ついて熱心であったことについても語った。リレートークでは「マンホール拓本の旅」一路上観察とマンホール「デザインマンホール」の楽しみ方」などをテーマにした多彩な講師によるユニークな講演が続いた。会場では第9弾マンホールカードの先行配布もあり、垂涎もののカードにマンホーラーから歓声が上がっていた。

紫川・小倉城エリアのリバーウォーク北九州では、スタンブラリー、全国各地のデザインマンホール展示会、グッズの販売会、100周年記念切手が当たる大抽選会、缶バッジ作りなどの「マンホールで遊ぼう」コーナー、さらにマンホールで調理するホットケーキなどの飲食ブースも盛り上がった。